

河川砂防技術研究開発公募(地域課題分野)平成21年度採択テーマ

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
河川空間における良好な河川景観の形成と保全のための景観形成方針の設計および景観設計等を行うための景観形成手法の確立のための調査研究(研究期間: H21年~H23年)	九州大学 樋口 朋彦	B
<研究概要> 良好な河川景観の形成と保全に向けて、本研究では、河川の景観構造、歴史的・文化的地域特性、さらに市民の河川空間利用状況やまちづくりの状況を総合的に把握することを通じて、地域の「らしさ」を設計に反映させる景観形成方針の作成手法を考案、試行し、その結果を評価し手法を確立することを目的としている。筑後川瀬の下地区を主な対象に三年間の調査研究を実施した結果、良好な成果を得ることができ、それは今後の筑後川河川管理に反映される予定である。		
<事後評価コメント> 本研究では、地域毎の景観特性を考慮した景観形成手法をマニュアルとしてまとめており、研究の目的は概ね達成され、研究成果があったと言える。 維持管理の場を景観保全に活かそうとしている点に今後の可能性が感じられ、新規性のある発展的な研究になるよう期待したい。		

※評価基準

- A: 研究目的は達成され、十分な研究成果があった
- B: 研究目的は概ね達成され、研究成果があった
- C: 一定の研究成果があった
- D: 研究成果があったとは言い難い